コミわか広場 hiroba

わ 私たちが、
か 変えます。
つ 創ります。
き 協働参画社会。

第80号（平成29年1月1日）　◆発行 若槻地区住民自治協議会「コミュニティわかつき」会長 粟野原　潤
◆事務局 TEL/FAX 266-0034　メール komiwaka@bj.wakwak.com　HP:URL:http: //www.komiwaka.com/

災害に強い町に

若槻地区住民自治協議会　会長　粟野原　潤

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、ご家族そろって新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

旧年中は、若槻地区住民自治協議会の事業運営にご支援を賜り、誠にありがとうございました。本年も、まだ諸事業が残っておりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

さて、昨年は熊本と鳥取において地震があり、夏には各地で台風による予想外の被害もありました。直近では、福島と宮城の地震において津波への心配があったりと、多くの災害に見舞われました。

災害は、いつ、どこで起こってもおかしくありません。予知することは非常に難しいことですが、被害を最小限に抑えることはできると思います。各区・各自治会で行われている防災訓練に積極的にご参加いただき、非常時には訓練を思い出して行動してください。

また、「コミわか」では、平成 27 年度に市の補助制度を活用して、高性能なトランシーバー（無線機）を購入し、非常時に「コミわか」の本部との連絡ができるよう各区・各自治会に一台ずつ配備しました。その後、本部と各区・各自治会との伝達訓練を重ね、いざという時に備えています。

H28.4.20に市立公民館で開催した「洋ラン栽培教室」での講師

昨年の 9 月に開催した「活き生き若槻　みんなでトーク」においては、加藤市長及び市の部局長に出席していただき、約 100 人の住民の皆様がご参加くださり、有意義なものとなりました。

意見交換のテーマとしては、今後 3 ～ 4 年以内に幹線道路網が整備されることにより、地区内の交通体系が飛躍的に変化することを踏まえ、『一人ひとりが主役となり、地域の繋がりを深め、誰もが安心して住めるまちづくり』とし、公共交通システムの再構築や地域福祉への対応、自主防災組織の人材育成について話し合いました。

特に、自主防災組織の人材育成については、市の消防局長から、市政出前講座や研修会等の機会を活用していただくとともに、県が行う自主防災組織のリーダー研修会への積極的な参加も有効な手段ではないかとの話がありました。

最後になりますが、平成 29 年度は、平成 25 年 4 月に 5 か年の計画として策定した『若槻まちづくり計画』の最終年度となります。本年 1 月からは、「第二次まちづくり計画策定委員会」を立ち上げ、現在の計画の評価・検討などを行い、新たな 5 か年計画の策定に向けた準備が本格化します。

今後も、若槻地区の発展、飛躍のため一層の努力をしてまいりますので、皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

本年が皆様にとりまして、幸多き年になりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。